

☆緑ヶ丘公園サッカー場改修工事について、観戦スタンドを確保すべきではないかと提案し、人工芝2面を最優先に考え、観戦用スペースも一部確保していくとの答弁がありました。

☆(仮称)第16中学校(ウトナイ地区)実施設計において、グラウンド側にある生徒用通路の除雪について質問し、公務補が基本的に除雪し、教師が手伝いをして登校時間まで対応しますと答弁がありました。

宇多春美 議員



☆苦小牧市手話言語条例が制定されました。

手話が言語であるとの認識により、

市・事業者・市民の責務を明らかにすることを求めました。具体的には手話登録員に対して研修機会の確保・派遣先の拡大・専任通訳員を増進させること、また学校教育では手話学習の拡大により手話に触れる機会を増やすこと、そして何よりも「手話が言語である」ということを市民に周知する事を求めました。

☆後期高齢者健康診査には歯科健康診査があります。高齢者の健康増進に歯と口の検診がとても大切であり、口腔機能の低下や誤嚥性肺炎などの予防につながります。

今後も苦小牧歯科医師会の協力をいただき受診率を高め健康寿命延伸を望みます。

板谷良久 議員



☆防犯カメラの設置について、学校や公園などへの設置要望が1千台以上ある

ことを指摘し、今後は人感センサーなど、防犯抑止に効果的な機器・機材の設置を検討することになりました。

☆30年度、胃がん検診に内視鏡が導入され、画像については、医療機関の医師とは別の検査医により再度チェックを行い、高い精度の検診に努めることが明らかになりました。

☆30年度に供用開始する共同墓について、墓じまいに対応したお墓単位の単価設定の必要性を求め、検討することになりました。

市民派

谷川 芳一・桜井 忠



谷川 芳一 議員



桜井 忠 議員

行政報告

苦小牧駒澤大学の設置者変更

代表質問

- 1 苦小牧市の財政について
 - 2 公約の取り組み状況について
 - 3 行政改革について
 - 4 カジノを含む統合型リゾート
 - 5 新千歳空港安全運行と民営化
 - 6 米軍の訓練移転について
 - 7 外国人旅行者受け入れ体制
 - 8 中央インターチェンジ
 - 9 JR北海道の路線廃止
 - 10 日本女性会議開催地
 - 11 保育士等の男性活用
 - 12 震災に強いまちづくりについて
 - 13 同性婚とパートナー条例
 - 14 教育行政方針
- (1) 教育の目的について
 - (2) 学力向上について
 - (3) 子どもの貧困と健康
 - (4) メール配信サービス
 - (5) 特別支援学級について

カジノ

会派市民では代表質問や予算委員会で反対を明らかにしましたが、他会派の賛成多数で承認されました。以下に代表質問での考えを記載します。

- (1) 「良質な雇用」と言うが額に汗して働くのは質が低いのか。これでは職業に貴賤をつけ、差別を助長する。「幅広い雇用」にすべき。
- (2) 市内の雇用状況がひっ迫する。
- (3) 依存症が増えるが、その対策も明らかではない。そもそも依存症をつくらないことを考えるべき。
- (4) 負けたお金で街づくりをするより、それに頼らない誇り高い街づくりをすべき。
- (5) 市政方針に「まちかどミーティングの声を市政に反映する」とある。まちかどミーティングで反対が多数になれば諦めるのか。そうでなければ市政方針に反するが。
- (6) カジノができれば現在もギリギリで運営している公営競馬が成り立たなくなる。そうなると馬産地日高では倒産し、離農する牧場が続出し地域経済は大変になるのでカジノ誘致をするべきではない。